

湖南省少年センターだより

(湖南省少年センター・あそぶ湖南)



【住所】湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎別棟2階
 【悩み相談】Tel 77-7053 FAX 77-7059
 【e-mail】ask-7053@city.konan.shiga.jp

子どもたちの生活を 耐性自立の視点で見直す



湖南省教育研究会
 小学校生徒指導部会長
中 部 哲 也

耐性をつけること

子どもたちは、他国の子どもと比べるとたいへん豊かな生活の上で暮らしています。食べ物も遊ぶモノも子どもたちの周りには山ほどあります。

しかし、豊かになったのに子どもたちの心にはなんだか不満ばかりたまっているようにも見えます。豊かであれば心も広くなり、人との良好なつながりができてよさそうなのに、キレたり無視したりと人とのつながりはむしろ薄れてきていてコミュニケーションがうまくとれなくなっている様子がうかがえます。どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。

子どもたちはあと十年前後で、自立した大人になって社会に出て行くことになりました。その時、**社会のルールに従ったり、周りの人の気持ちを考えて行動したりすることが必ず求められます。** そうしながら、自分の主張をしっかりと述べていくことが社会人ということなのだと思えます。

学校生活はその準備期間で、そ

のための訓練の場です。学級の集団で何かをしたりグループで何かを決めたりすることはその大事な練習です。しっかりと話し合い、みんなで決めたことについてはそれに従ってやってみる、我慢するということも大切なことなのです。では、「勝手に行動をしない。物事を投げ出さない。我慢する。」といった耐性をどのように身につけさせたいのでしょうか。

大人が変われば子どもも変わる

学校の教師も子どもを取りまく大人です。学校では教師の人間力を高めることに加えて、子どもと教師との信頼関係や子ども同士の好ましい人間関係を育てるように留意した教育活動を展開しています。その中で例えば、決められた範囲で自己決定の場を設定したり、共感的な人間関係づくりを大切にしたりするなど、子どもの援助者としてのあり方を考え取組みを進めています。実際には十分に実を結ばなかった点があることも事実

ですが、反省を重ねつつ指導を行っています。

では、家庭での対応はどうしたらいいのでしょうか。
「可愛い子どもには旅をさせない」

という言葉があります。甘やかさず、年齢に応じた苦しさやつらさを体験することを通して精神力や耐性が育っていくということを示しています。一方で、子どもが勇気を持って旅に出るためには、嵐にあった時などいつでも帰ってこられる港のような場所になります。家庭がそのような場所になるか、子どもが安心して居られる場所になっているか、時々振り返ってみたいものです。

また、「**子どものしつけは言葉によるべからず、目によりしむべし**」という言葉があります。つまり、

◎◎ こんな子育てをしましょう ◎◎

- ① いっぱい子どもの話を聞きましょう。
- ② 子どもの顔を見ながら聞きましょう。
- ③ していることが違ってても、親子で一緒にいる時間を増やしましょう。
- ④ スキンシップをしながら目を見て叱りましょう。
- ⑤ 叱ったあとに抱きしめましょう。

■■ こんな子育てはやめましょう ■■

- ① 他の子や兄弟姉妹と比較する、比較して叱る。
- ② 今のこと以外に過去のことを引き出して叱る。
- ③ その日によって叱る基準が変わる。
- ④ モノを買ってやることでしか頑張らせていない。
- ⑤ (近所の人や先生などの) 大人の悪口を子どもの前で言う。

(湖南省教育委員会資料より)

子育ては、言葉だけでしつけるのではなく親自身が見本を示すことが大切であるということになります。さらには、子どもは親自身の日常の言動や生き方を見て真似ていくことになりやすいため、親自身が生き方を考えていくのも大切であるということになります。左にある「**こんな子育てをしましょう**」リストを参考に真直しをされてはいかがでしょうか。

実際の所、子育ては山あり谷ありです。心配なことがあれば、早めに学校や園、少年センター等に相談されることをおすすめします。今後とも、地域、保護者の皆さんと学校とで子どもが健全に育つ社会を築いていければと思います。(なかもらってや、下田小学校長)

平成23年度を振り返って

湖南省補導(委)員の活動

- ・街頭補導
 - 合同街頭補導・・・39回
 - 夜間街頭補導・・・10回
 - 県下一斉補導・・・4回
 - 夏祭り特別補導・・・1回
- ・女性部活動
 - 着ぐるみ人形劇10回 練習2回
 - 延べ出勤人数：63名 動員人数：896名
 - 研修会（甲賀少年補導委員会との交流）
 - 女性部会（6月、9月、3月）
- ・薬物乱用防止教室
 - 6校開催 延べ出勤人数13名
- ・中学校区別活動
 - 登下校時の「愛の声かけ」運動
 - 下校時の立ち当番
 - 夏休み・冬休みの街頭補導
 - 小学校・県立学校・警察との連絡会議
 - 青少年学区民会議との連携活動
- ・地域ふれあい事業
 - 甲賀市少年補導委員との交流



着ぐるみ人形劇



薬物乱用防止教室



青少年学区民会議との連携活動

	男	女	合計
本人	466	231	697
家庭	149	103	252
学校	147	56	203
職場	127	23	150
警察	22	11	33
他機関	223	82	305
その他	25	16	41

相談者

ズに添えています。

	男	女	合計
無職少年	663	240	903
有職少年	186	117	303
学生その他	50	25	75
高校生	237	105	342
中学生	21	35	56
小学生以下	2	0	2

相談対象者の学職

平成23年4月から12月の9ヶ月間に湖南省少年センター・「あすくる湖南」に寄せられた相談総数は1,681件ありました。相談者の内訳は、本人・家庭・学校からで、7割近くになり、対象者の学職は中学卒業後の少年が多くを占めています。

左の表からは、進路変更や就労に関する相談が多いことが見てとれます。（表はいずれも延べ人数です）

湖南省少年センターでは、就労が少年の自立の大事な一歩と考えています。そのためハローワークや善意ある企業など様々な機関と連携しながら、それぞれ個性豊かな少年のニーズに添えています。

就労が自立の一助

相談や悩みごとは、お気軽に

湖南省少年センター(あすくる湖南)に

電話 77-7053
 FAX 77-7059
 E-mail ask-7053@city.konan.shiga.jp

〒520-3195 湖南省石部中央一丁目1番1号
 西庁舎別棟2階

なや かか こ
悩みをひとりで抱え込まないで!!

